



ーカリフォルニア州オレンジ郡の成功例から学ぶー

家族再統合への具体的な取り組み

大阪

10/1 土

10:30~16:00
(受付: 10:00~)

会場: 難波市民学習センター (講堂)

講師: ネイサン・Y・西本氏 (オレンジ郡福祉庁 家族自立支援局長)

主催: 一般社団法人日本ボーイズタウンプログラム振興機構

共催: US-Japan Advanced Skill Training Center、一般社団法人エンパワメント宮崎、オッジヒューマンネット、NPO 法人 Com 子育て環境デザインルーム、NPO 法人親支援プログラム研究会、社会福祉法人麦の子会

後援: 厚生労働省 (予定)、大阪府、和歌山県、全国日米協会連合会

言語: 日本語/英語

参加費: ¥9,800



オレンジ郡福祉庁 家族自立支援局長
ネイサン・Y・西本 氏

ハワイ州ワヒアワ出身。
オレゴン州パシフィック大学の理学部
心理学科学士課程修了。カリフォルニア
州立大学フラトン校の理学部臨床・
コミュニティ心理学修士課程修了。

30年間児童福祉に携わる。ソーシャル
ワーカー、スーパーバイザー、オレンジ
郡社会福祉庁家庭支援局の中間管理
職と副局長を経て、現在はオレンジ
郡社会福祉庁家族自立支援局長を勤め
る。西本氏は、家庭支援局内で、子
どもを家庭で適切に養育する環境作り、
親との安全な再統合の早期実現、また
再統合が困難な場合、永続する適切な
養育先を見つけることを目指し、全米
及びカリフォルニア州における児童福
祉戦略の実行に携わる。

現在、日本における家族再統合においては多くの課題が指摘されています。

虐待した親と支援者は、どのように信頼関係を構築するのか？子どもの保護から、面会、外泊、再統合までのプロセスをどのような基準で判断し、進めるのか？親に何を教え、どのようにモニターしていくのか？

今回の研修では、全米でも注目されているカリフォルニア州オレンジ郡の家族再統合の取り組みとその成功事例を紹介します。

カリフォルニア州オレンジ郡は、全米で最も前進的な虐待防止、家族再統合プログラムを実施していることで有名です。しかし、このような家庭支援プログラムは短期間でできたわけではありません。日本と同じようにソーシャル・ワーカーが能力を超える数のケースを抱える状況がアメリカにもありました。

オレンジ郡では子どもを親から引き離す事による弊害に早くから着目し、児童裁判所 (日本の家庭裁判所) と協力して問題のある家庭や子どもに対して幾重にもわたるサービスを提供して再統合を促進しています。効果の実証されたペアレンティング・プログラム (Common Sense Parenting®) の使用もその中に含まれています。アメリカやカリフォルニア州の児童福祉行政がどのように変化してきたかを知ることは今後の日本にとって有益な情報となるでしょう。

皆様のご参加お待ちしております。

お申し込み方法

下記リンク又はQRコードから申込フォームに
アクセスしお申し込み下さい。

PC・スマホ共用 <https://ws.formzu.net/fgen/S45050558/>
スマホ専用 <https://ws.formzu.net/sfgen/S45050558/>
携帯電話用 <https://ws.formzu.net/mfgen/S45050558/>



お問い合わせ

IBPF Japan セミナー事務局

運営元: 株式会社グローバルメディア

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 7-2-2F

Tel:03-5623-6550 Fax:03-5539-3539

info@ibpf-japan.org